

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
466 史跡和歌山城保存整備事業

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	1	観光客受入体制の整備
基本方針	3	和歌山公園の整備・管理運営の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		和歌山公園管理費	
	大事業		和歌山公園管理事業	
事項		史跡和歌山城保存整備事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H19	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	史跡和歌山城整備計画		
担当課・担当課長 (Tel)	和歌山城整備企画課	山口 浩司 (435-1044)	
関連課	文化振興課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束	和歌山城の魅力アップ (伏虎中学校・児童女性会館跡地・扇の芝の一体整備、ジョギングコース整備、駐車場増設など)			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か	事業内容				
	和歌山城の史跡整備については、平成7年度に策定した「史跡和歌山城整備計画」を基本に、事業計画を作成し、史跡和歌山城整備委員会の意見や国・県の指導のもと、保存整備を行っています。	老朽化した石垣 (勘定御門東側石垣・天守閣石垣・岡口門土塀石垣等) や二の丸西部 (二の丸御殿の大奥付近) の整備に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡整備委員会での協議を行っております。二の丸西部においては、石組みの排水溝や漆喰で出来た池などが貴重な遺構が発見されていることから、それらの遺構を展示する方法を検討し、紅葉溪庭園の改修も含めた一体的な整備を図ることにより、新たな観光スポットを創造して行きたいと考えています。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		二の丸御殿遺構発掘調査 石垣基礎調査	二の丸御殿遺構発掘調査	二の丸御殿遺構発掘調査 西の丸西側石垣修理 (発掘・設計) 史跡和歌山城整備計画の効果検証等	二の丸御殿遺構発掘調査報告書作成 西の丸西側石垣修理 (施工) 西の丸庭園修復 (地形測量) 史跡和歌山城整備計画見直し	西の丸西側石垣修理 (施工) 西の丸庭園修復 (設計)

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	8,905	12,651	5,473	5,454	5,933					
伸び率 (%)	-	-	-38.5%		8.4%		-100.0%		-	
人件費										
常勤職員	16,486	16,760	16,511	16,615	16,615					
非常勤職員	4,419	4,415	4,419	3,650	3,650					
小計	20,905	21,175	20,930	20,265	20,265					
国庫支出金	4,381	4,453	2,664	2,537	2,894					
県支出金	219	222	133	124	144					
市債										
その他	4,286	7,901	2,656	2,738	2,795					
一般財源 (税等)	19	75	20	55	100					
所要人数										
常勤職員	2.22	2.21	2.21	2.23	2.23					
非常勤職員	2.10	2.10	2.10	1.86	1.86					
主な予算内訳	二の丸御殿遺構発掘調査業務 (5,058千円)									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	調査場所数					年度目標値	1	1	1	1	
						実績値	1	1			
	単位	箇所	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%		
							年度目標値				
単位	箇所	全体目標値		全体目標達成度		実績値					
						年度別達成度					
成果指標	和歌山城整備進捗率					年度目標値					
						実績値					
	単位	箇所	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
							年度目標値				
単位	箇所	全体目標値		全体目標達成度		実績値					
						年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「史跡和歌山城整備計画報告書」を基本に、事業計画を作成し保存整備を継続している。
「見直し」 「改善」案	史跡整備については、「史跡和歌山城整備計画報告書」を基本に史跡和歌山城整備委員会に諮り、国・県の指導のもとに行っている事業であるが、近年の情勢変化に伴い、「見直し」「改善」の方向で進めていく。